

1 題材について

対 象 学 年	小学校 第3学年
学 習 指 導 要 領	第3学年及び第4学年の内容 A表現(1)ア、イ
題 材 名	「ふくろでふわふわ」 (全4時間)
題 材 目 標	<p>袋という材料への興味から造形活動に関心をもち、体全体を十分に使って、つくりたいものを思いついたり、活動したりする。</p> <p style="text-align: right;">【造形への関心・意欲・態度】</p> <p>体全体の感覚を生かして、袋状の形からどんなものができそうか考え、自分のつくりたいものを思いつくことができる。</p> <p style="text-align: right;">【発想や構想の能力】</p> <p>自分の思いをもとに、大きさ、形、色の組み合わせなどを工夫してつくりすることができる。</p> <p style="text-align: right;">【創造的な技能】</p> <p>お互いの発想のよさ、形の面白さ、組み合わせの美しさ等を伝え合い、自他の作品のよさを見つけることができる。</p> <p style="text-align: right;">【鑑賞の能力】</p>
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 題材指導計画作成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4観点から、本題材の基礎的・基本的な内容を具体化し、単位時間における指導内容を明確にする。特に、袋の形の生かし方、色の組み合わせ方について、材料やまわりの環境との関わりを意識して工夫できるようにする。 ・ 袋という形状の面白さ、ビニールという材質の特徴を十分味わえるような場面、場所を確保し、作品へのイメージを大いに膨らますことができるようにする。 <p>単位時間における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 袋状の形の特徴から、どんなものがつくれるか単純な接合の例を示したり、遊んだりしながら想像できるようにする。 ・ 袋のつなぎ方、ふくらませ方が分かる具体的な資料を提示し、自分の興味や好みにしたがって、思い思いの作品づくりができるようにする。 ・ 設置する場、飾り方など、作品への思いが広がるような提案をし、遊び方が工夫できるようにする。 ・ ねらいから見た児童の課題を作品や観察等から把握し、評価規準をもとに個に応じた指導・援助ができるようにする。
参 考 資 料	<p>学習プリント</p> <p>指導資料・・・袋の接合の仕方、ふくらませ方、その他の材料</p> <p>評価の補助簿</p>

2 題材の評価規準

	a 造形への関心・意欲・態度	b 発想や構想の能力	c 創造的な技能	d 鑑賞の能力
内容のまごとのまのり評価規準	<p>【表現】 材料や場所をもとに、楽しく表しながら、体全体を働かせたり、みんなで話し合ったりしながら、自らつくりだす造形活動を楽しもうとする。</p> <p>【鑑賞】 自分たちの作品や身近な造形品などの表し方や材料による感じの違い、よさや面白さなどに関心をもとうとする。</p>	<p>材料や場所の特徴を見付け、ものをつくれた経験などをもとに、つくりだす能力などを働かせ、発想したり、みんなで話し合ったりする。</p>	<p>材料や場所の特徴をもとに、組み合わせるなどしながら、それらの美しさや面白さ、表し方の感じの違いに関心を持ち、体全体の感覚やつくりだす能力、デザインの能力などを働かせて、表し方を工夫する。</p>	<p>表し方や材料の感じの違いが分かり、親しみのある美術作品やその制作の過程などのよさや面白さなどについて、話し合うなど関心をもって見る。</p>
題材の評価規準	<p>体全体を十分に使って材料の魅力を感じ取り、つくりたいものを思いつくことや活動することを楽しんでいる。</p>	<p>袋という形の特徴を生かして、全体の形や色の組み合わせのイメージをから、どんなものをつくらうか思いつくことができる。</p>	<p>自分の思いをもとに、つなぐ、ふくらます、色を組み合わせる等のつくり方を選択し、自分なりに工夫しながらつくっている。</p>	<p>自分や友だちの作品を見たり触れたりしながら、感じたことを話し、それぞれのよさを見付ける。</p>
単位時間に具お体けのり評価規準	<p>手や体全体の感覚を働かせて、材料の色の組み合わせの美しさや形の面白さなどを表そうとする。</p> <p>袋の形や色の感じ、手に取った感じなどいろいろな感じの中から、材料やつくり方を選んだり、決めたりする。</p>	<p>つないだりふくらませたりして形を変えたときの面白さや色の組み合わせによる美しさなど、自分の感じ方を大切にし、想像をふくらませる。</p> <p>つくった作品にかかわり、自分なりに遊び方を考えたり、飾る場所を選んだりする。</p>	<p>粘着テープでつないだり、カッターナイフで切ったりして、思いのままにつくり直したりしながら、表し方を工夫する。</p> <p>ビニール袋に描き加えたり、他の材料を貼り付けて飾ったりして自分の思いに合った表現の工夫をする。</p>	<p>友人や自分の表し方の違いに関心を持ち、美しさや面白さの感を話したり伝えたりする。</p>

3 指導と評価の計画(全4時間)

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	<p>材料の特徴を生かした作品づくりをすることが分かり、願いをもとうとする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>袋を使った作品づくりに興味をもち、感じたことを大切にしながらつくりたいものを思いつく。</p> </div> <p>参考作品や材料を見たり、実際に手に取って触れたりしながら、感じたことを話す。</p> <p>感じたことをもとに、どんなものをつくらうか思いつく。</p>	<p>a - 手や体全体の感覚を働かせて、色の組み合わせの美しさや形の面白さなどを表そうとする。</p> <p>a - 袋の形や色の感じ、手に取った感じなどから、材料やつくり方を選んだり、決めたりする。</p>	<p>発言 観察</p> <ul style="list-style-type: none"> 参考作品や材料を見て感じたことやつくりたいと思ったことを進んで話そうとしているか。 参考作品や材料を進んで手に取って、感覚で味わおうとしているか。 	<p>参考作品を示し、手に取って触れる場をもちながら、材料のよさが伝わるように紹介する。</p> <p>友だちと話し合ったりして、つくりたいものを協力してつくれるようにする。</p>
2 3	<p>願いをもとに想像をふくらませ、材料の变形、色の組み合わせを思い思いに発想してつくる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>袋状の形をもとに、つなぐ、切る、ふくらませる、色を組み合わせるなど表し方を工夫してつくる。</p> </div> <p>全体の形や大きさ、色の組み合わせのイメージをふくらませながらつくっていく。</p> <p>切り込みを入れたり、粘着テープでとめたり、自分の思いに合わせて工夫しながらつくる。</p> <p>荷作りテープ、色紙、カラーペン等、身の回りにあるものを生かしてつくる。</p>	<p>b - つないだりふくらませたりして形を変えたときの面白さや色の組み合わせによる美しさなど、自分の感じ方を大切にし、想像をふくらませる。</p> <p>c - 粘着テープでつないだり、カッターナイフで切ったりして、思いのままにつくり直したりしながら、表し方</p>	<p>観察 作品 聞き取り 写真 VTR</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料に向かい、広げる、並べるなどして、どのように手を加えようか考えているか。 つくり方を決め、用具を安全に使いながら、自分の思いに合った表現をしようとしているか。 他に使えるような材料を求め 	<p>形や色について、自分のイメージや好みを話すことができるよう机間指導する。</p> <p>粘着テープでとめるときの留意点、カッターナイフの安全な使い方がよく理解できるように資料を用いて指導する。</p> <p>袋の他に使えるような材料をあらかじめ準備しておく。</p>

			を工夫する。 c - ビニール袋に描き加えたり、他の材料を貼り付けて飾ったりして自分の思いに合った表現をする。	たり、友だちの作品から学んだりして、工夫のあるものをつくらうとしているか。	
4	自分や友だちの作品の表し方や材料・用具の生かし方等のよさを見付け、表現の喜びを感じる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>つくったもので遊んだり、場所を見付けて飾ったりしながら、自分や友だちの表現のよさを味わう。</p> </div> <p>作品の中に入って動かしたり、抱きかかえたり、風にかざしたりして遊ぶ。</p> <p>飾りたい場所を考え、その場所に設置し、ながめて楽しむ。</p> <p>友だちの作品について、よさとして感じたことを発表し合う。</p>	<p>b -</p> <p>つくった作品にかかわり、自分なりに遊び方を考えたり、飾る場所を選んだりする。</p> <p>d -</p> <p>友人や自分の表し方の違いに関心を持ち、美しさや面白さの感じを話したり伝えたりする。</p>	<p>観察 発言 学習カード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの工夫がある遊び方、飾り方をしているか。 ・友だちの作品のよさを自分なりに見付けているか。 	<p>友だちの作品を大切に扱うよう指導する。</p> <p>作品に対して、大きさ、形、色の組み合わせに注目できるように促す。</p>

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

- ・ 願いをもとに想像をふくらませ、材料の変形、色の組み合わせを思い思いに発想してつくる。

(2) 本時の位置 3 / 4 時

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	評価について	指導・援助
導 入	<p>前時を振り返りながら、本時の作品づくりについて、どのような工夫をしていくか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 切り込みをいれるところまでできてきているので、テープでつなげていきたい。 ・ 色の組み合わせが決まったので、しっかりふくらませるように工夫したい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>袋の形をもとに、つなく、切る、ふくらませる、色を組み合わせるなど表し方を工夫してつくろう。</p> </div>	<p>本時の取組みについて、工夫したいことをはっきり話しながら決定する。 【関心・意欲・態度】</p> <p>[発言、図工カード]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の考えや参考資料からそれぞれのよさを感じ取り、自分の表現に生かそうとする。 	<p>参考資料を掲示し、振り返りや作品への工夫に生かせるようにしておく。</p> <p>思いに合わせた効果的な作り方ができるように、ペアになって作業をすることや仮止めしておく方法などを指導する。</p>
展	<p>切り込みを入れたり、つないで変形したりするなど、自分の思いに合わせて、作り方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伸ばしたい方向を考え、つなごうとする双方の袋の幅が合うように切ってつなげていく。 ・ ふくらませたときの感じを確かめながら、空気の漏れがないように工夫してつくっていく。 	<p>< c - ></p> <p>粘着テープでつないだり、カッターナイフで切ったりして、思いのままにつくり直したりしながら、表し方を工夫する。</p> <p>[観察、作品、聞き取り]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ つくり方を決め、用具を安全に使いながら、自分の思いに合った表現をしようとしているか。 	<p>< 努力を要する児童に対する指導 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カッターナイフでの作業は安全面に留意するよう指導し、下に敷く物や袋の持ち方などを適切に行えるようにする。 ・ 思う方向に切るとき、袋をまっすぐに張るとよいことを指導する。 ・ 袋の口を閉じるとき、ねじって折り曲げ、ひもで強く結ぶとよいことを指導する。 ・ 荷作りテープやマーカーペン、色紙など、使えるような用具、材料をあらかじめ準備しておく。
開 ま と め	<p>本時の取組みを振り返りながら図工カードに記入し、発表を通して友達と交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ よい工夫をしている友達の様子を聞いて、次時の表現に向けて思いを膨らませる。 	<p>A 表したい感じが表れるように、道具や材料を思いのままに使い、その特徴を生かしながらつくる。</p> <p>自分の取組を振り返ったり、友達の工夫のよさを味わったりする。 【鑑賞の能力】</p> <p>[発言、図工カード]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ めあてについてがんばったことを図工カードに書き、自分の工夫を話したり友達の話に関心をもって聞こうとしているか。 	<p>図工カードの記入時に机間指導し、一人一人のがんばりが明確に記入されるよう援助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に変化が見られた児童の工夫を紹介するとともに、本時全体の授業姿勢のよい点を話し、よさが高まるようにする。

5 評価の実際と個に応じる指導事例

(1) 本時重点的に取り上げた評価規準

C -

粘着テープでつないだり、カッターナイフで切ったりして、思いのままにつくり、つくり直したりしながら、表し方を工夫する。

(2) 評価の実際

— 評価の方法 —

[観察、作品、聞き取り]

・ つくり方を決め、用具を安全に使いながら、自分の思いにあった表現をしようとしているか。

— 判断の事例 —

・ ふくらませた袋をネコの頭に見立てることができ、カラー粘着テープを選んで、目や口の形に切って貼るなど、自ら思いついた工夫を生かしながらかついていたので、Aと判断した。

・ はじめ、袋を上手くふくらませることができなかったが、口の閉じ方を指導・援助すると、徐々にコツをつかみ、進んでつくり直していったので、Bと判断した。

・ 前時では、はさみやカッターナイフが上手く用いることができず指導・援助したが、なかなか要領を得ることができずあきらめがちだったので、Cと判断した。しかし、本時では、本人があきらめずに取り組み、思う形に切ることができるようになっていったので、Bと判断した。

(3) 個に応じた指導の実際 (Bに達しなかった児童生徒に対して)

・ つまずきの傾向と指導の意図

前時の段階でBに達していないと判断していた児童は、いずれも材料に対する興味や願う作品のイメージについては問題がないと判断していた児童ばかりである。しかし、道具や材料を用いて思うままにつくろうとしたとき、技法的に上手くいかないとすぐにあきらめてしまう傾向であった。そこで本時では「もう一度つくってみる。」「他の方法を試してみる。」「別のアプローチに変えてみる。」といった創造的な技能を働かせることができるよう、袋を切ったりふくらませたりするときのコツや袋以外の様々な用具、材料を準備し、本時の指導・援助を行った。

・ 指導の実際

まずはじめに、どのような表現にしたいのか児童に対して投げかけ、思いを聞き取った。そして、その表現を実現するために選び取っていた方法に対して「もう一度やればきっとできるよ。」と励ましたり、「こういうふうにしてみたらどうかな。」と他の方法を勧めてみたり、「袋でつくるならこうするのもおもしろいよ。」と別のアプローチへと促したりした。

・ 児童生徒の変容

一度やってみて上手くいかなかったことでも、何らかの形でやり直してみれば改善されると児童は心情的に願いに対する希望がもて、指導・援助の手から離れて何とか自分の手で最後までやろうという姿に変容してきた。またさらに、「よかったね。」「上手くいったね。」ときめ細かく認めをしていくことでますますつくることに集中していく姿に高まっていった。